

広報 たてやま 11月

■昭和63年11月号（毎月15日発行） ■No. 452
 ■発行／館山市役所市長公室 〒294 館山市北条1145-1 ■電話22-3111



少年剣士300人参加

健全育成に剣道大会

「メーン」と気合いの入った声が館内に響いていたのは、11月6日、市民体育館で行われた、第20回スポーツ少年団剣道錬成大会。36チーム300人の少年剣士が参加、日ごろの練習の成果を競いました。

昭和63年11月15日

たてやま

(10)



江戸っ子の粋伝える 唐棧織

—44—

北条地区長須賀に住む斎藤さんは、唐棧織の伝承者として、千葉県無形文化財に指定されています。

唐棧織は、インド東海岸コロマンデル地方のサントーメ（セイント・トーマス）で産する綿織物をさしていたため、もともとは棧留（さんとめ）と呼ばれていました。

この棧留が、わが国に伝わったのは寛永年間、三代将軍家光による鎖国の始まるころです。オランダ貿易により、長崎に

もたらされた棧留は、まるで絹糸のように細く綿糸が紡（つむ）いであり、インド藍、蘇芳（すおう）などで染めた色糸を経緯（たてじま）にした小粋なところ

が、当時の町人たちに喜ばれ、綿物が大流行したそうです。

それに伴い、製作技法も伝来し、研究もすすみ、わが国でも

作られるようになりました。そのため、和物と区別するため、舶来の棧留を唐棧留（唐棧）と称したそうです。やがて、国産品の品質の向上とともに、区別する必要がなくなり、すべて唐棧と呼ばれるようになりました。

斎藤さんのお宅に伝わる技術は、明治元年、士族授産のため設けられた東京蔵前の殖産所で

学んだのが始まりだそうです。日本各地で盛んに製作された唐棧でしたが、明治三十年ごろを境にすっかり寂れてしまい、今では斎藤さんの家一軒になってしまいました。

斎藤家に伝来する技法の特色は、綿紡績糸の八〇番から一二〇番の細い原糸を二本撚（より）

にして経緯（たてよこ）に用い、綿の平織りに仕上げていることと、天然の草木染め、それに、

砧（きぬた）打ちといわれます。染料は近隣で採集する、椎・山桃・山桐などの木の皮、藍、紅花などの植物で、それを秘伝とされる調合を舌でなめてするそうです。さらに、織り上がった反物を、一時間ほど橙の木槌で

砧打ちし、芯のあるしなやかさを出しています。

オランダ、三筋、乱立、清元など数多い編柄で知られる唐棧ですが、今日も斎藤さんは、江戸っ子の粋を織り出しています。

皆さんの相談室です お気軽にどうぞ

児童

市福祉事務所で

専門の先生が子供の養育の問題点について相談を受けます。

心配ごと

毎週火曜日

午前10時～午後3時

（登記・相続・人権に関する相談は、専門相談員により）
 毎月第1火曜日

結婚

毎月第1・3日曜日

午前10時～午後4時

※いずれも市民センターで、社会福祉協議会（☎23-5068）

市民

市役所市民相談室で

毎日午前9時～午後5時

年金

市役所で、厚生年金など

12月16日（金）
 午前10時～午後3時

消費生活
 商品やサービスの苦情
 毎月第1、三木曜日
 市役所市民相談室
 午前9時～午後4時

家庭教育

ことば、生活習慣、登校拒否、非行、性、いじめの相談など

月～金曜日午前9時～午後4時

中央公民館 電話で23-3111へ

身障・精薄

毎月第4火曜日
 午後1時～3時

※身障 伊賀病院
 ※精薄 田村第二病院

福祉事務所福祉係に必ず事前に申し込みを

乳幼児

○乳児相談

12月7日（休） 保健センター
 12月14日（休） 保健センター
 12月21日（休） 那古地区公民館（4ヵ月児）
 午前9時30分～10時受付（10ヵ月児）
 午前10時30分～11時受付

○1歳6ヵ月健診

12月1日（休） 保健センター
 午後1時30分～2時受付

○3歳児健診

12月22日（休） 保健センター
 午後1時30分～2時受付
 60年9月生まれ児対象

健康特集

年をとっても健康

睡眠と適度な運動を

精神科医師 田村利純先生

ボケといわれるお年寄りを見ていると、それまで運動らしい運動もせず、何もすることがないというような人が早くボケやすいといえます。隠居生活にはいり、仕事もないし、これといった趣味もなく、テレビばかりを見ているというのはよくあり

ません。身体は、リハビリにより機能の回復ができますが、ボケは脳細胞の死滅ですから、なかなか治るものではありません。それだけに、予防が大切です。年をとると、睡眠時間が短くなり、朝早くから起きだす人がいますが、最低七時間は睡眠をとりたいですね。眠っていないと、ふとんの中で横になっていて、歩くこともお勧めします。歩くことにより、足の裏から脳へと

- ① 多種の食品で、栄養のバランスをとる
- ② 食塩はとり過ぎない
- ③ 脂肪は量と質を考慮して
- ④ ストレスの解消
- ⑤ 交友関係を広げたり、書物等から柔軟な精神力をつくりましょう
- ⑥ 仕事以外に打ち込める趣味を持ちましょう
- ⑦ 感情を内に押さえるばかりでなく、ときには発散を
- ⑧ 規則正しい睡眠を
- ⑨ 早寝、早起きは三文の得
- ⑩ ただし、七時間は睡眠を
- ⑪ 身体と精神の疲労をとり
- ⑫ 食事は、遅くても就寝二時間前には済ませましょう

痴呆とは、医学的には、後天的な、回復不能な知能の欠陥状態のことをいいます。その症状としては、▽いま済ませたばかりの食事を忘れ、食事の要求をするなどの記憶障害、▽日・時・場所・人がわからなくなる見当識障害、▽自分の持ち物が見当たらないと盗まれたと思ひこむ被害妄想、▽夜・昼がかわらず歩きまわる徘徊(はいかい)、そのほか、幻覚、失禁、不眠、性行動、衣服の着脱ができない、などがあげられ、家族ばかりでなく、時として地域の人々にまで面倒をかける場合も見られます。

痴呆とは...

痴呆の原因は、脳血管障害によるものと、脳神経細胞の老化によるものの二つに大別されます。ですから、血管を老化させないよう、食事には注意したり、脳の若さを保つ努力をすること、ボケを防ぐことにつながると思います。

ボケ予防のポイント

日常生活の見直しを

- ① 年をとっても、「ボケ」はごめんです。左にボケ予防のための注意点を五つにまとめてみました。人生八十年時代をいつまでも健康やかに過ごすため、自分の日常生活を見直してみよう。
- ② 一、運動をしましょう。
- ③ ① 自分に適したスポーツを
- ④ ② 身体を動かしましょう
- ⑤ ③ 手と指をよく使いまし
- ⑥ ④ 早期発見、早期治療を
- ⑦ ⑤ 自分でできます、高血圧
- ⑧ ⑥ 糖尿病は万病の源
- ⑨ ⑦ 正しい食生活をしましょう



手先を動かすことはボケ予防に

ボケはごめん!



年をとっても健康でいたい...

表1 65歳以上の人口

(単位:人、%)

	男	女	合計	比率
館山	769	1217	1986	13.81
北条	869	1333	2202	15.68
那古	336	501	837	15.58
船形	376	596	972	19.14
西岬	337	493	830	23.80
神戸	276	391	667	20.16
富崎	172	271	443	24.09
豊房	274	379	653	21.77
館野	196	253	449	13.83
九重	162	223	385	20.39
その他	11	12	23	8.19
合計	3778	5669	9447	16.89

本市の高齢化は深刻な問題

総人口に占める六十五歳以上の人口が七%を超えると「高齢化した社会」といわれます。日本では、既に昭和四十五年にこの数値を突破し、現在一〇・九%、十人に一人が六十五歳以上の高齢者になっています。しかし、本市の場合はそれを

さらに上回り、高齢者数は本年四月一日現在で、およそ九千五百人、総人口に占める割合は一六・九%に達し、厚生省が試算する、西暦二〇〇〇年の日本の高齢者比率(二六・三%)を超えています。表一に地区ごとの高齢者人口を示しましたが、地区によつては、ほぼ四人に一人が六十五歳以上の高齢者であるところもみられ、医療や介護の間

人生八十年時代といわれ、日本人の平均寿命が世界のトップクラスになったとはいえ、病気で長生きは考えもの。特に「ボケ」や「寝たきり」にはなりたくないものです。今月は健康特集と題して、ボケ(老人性痴呆症)について考えてみました。

ボケ老人は少ないけれど...

昭和六十二年の日本人の平均寿命は、男性七十五・六一歳、女性八十一・三九歳で、世界のトップクラスにあります。人口の高齢化とともに、このような平均寿命の伸びを考えると、最も心配されるのが「健康」の問題です。年をとれば、心身機能の低下により、どうしても病気になるりやすくなってしまうますが、それでも「ボケ」や「寝たきり」

市の保健婦も相談相手に...

まだ身体が自由がきき、歩き回れる場合があるだけに、ボケといわれるお年寄りの世話は、寝たきりの人より大変なことがあります。家庭訪問するある家では、食事や排泄の世話のほか、夜になると出歩くので、四六時中家族の目が離せないそうです。

ボケは、高血圧が引きがねになる例が多いといえますので、早期から健康管理が必要ですね。万一、お年寄りにボケの症状があらわれたら、保健婦や専門の医師にご相談ください。保健課では、各種の手当てやおむつのあて方、特別にできている生活用品の紹介などをするほか、市入浴サービスを派遣したり、世話をする人の相談相手となったりして、少しでも家族の負担を減らせるようお手伝いします。

にはなりたくないものです。しかし、高齢者のボケ(痴呆)は、急速な高齢化を背景に年々増加し、全国で八十万人いるともいわれています。昨年、市が実施した調査では、在宅の痴呆性老人は、市内で二十九人。出現率は、〇・三%で、六十五歳以上の高齢者のほぼ千人に三人がボケ老人であることがわかりました。この数値は、東京(四・六%)、大阪(四・一%)などの大都市に比べると非常に少なく、本市は、高齢者にとつて「ボケにくい」環境にあるといえます。しかし、実際に「痴呆」といわれる症状がでてしまつたら、楽観してはいられないものではあります。

■生け垣の枝は通行の邪魔にならないように切りつめてください。

晴れの市政功労者

46人と2団体を表彰

十一月三日に市民センターで、市の表彰式を催しました。受賞者は、市政の振興と発展に功労があった四十六人と二団体。名前、菊村義典、坂口憲宏、鈴木宗平、鈴木久子、中田恵三、平松一男、平柳久夫、福岡久泰、三坂勝哉、田中邦政、出山恒男、飯田保男、伊藤誠子、大嶋邦夫、長田敬子、小原田鶴子、川上浩、木高徳子、鈴木正男、鈴木正幸、野山清治、羽山忠夫、原玲子、飯田ヨシノ、渡邊衛

《善行表彰》

小澤勝洋、高尾紀雄、中村菊子、中村健三郎、中村正三郎、中村雄太郎、福岡フミ、丸清治、山口勝之

《功勞表彰》

石井昌治、生稲正一、石井淨

《団体表彰》

教育功勞で叙勲 故小田氏に勲五等

九月十二日、八十二歳で亡くなった元公立学校長の小田一郎氏(船形五〇八の三)に、従五位勲五等瑞宝章が贈られました。小田氏は、大正十五年に館山尋常高等小学校に奉職。以来三十七年間にわたり公立学校教員を務め、館野中学校長、豊房中学校長などを歴任されました。

この間、郷土に密着した子弟教育を重視するとともに、個人差に応じた教科の学力向上に早くから着目して教育活動に傾注。また、昭和三十年の学校統廃合による市立第四中学校の発足にあたっては、氏の卓越した指導力と行動力が発揮されました。

そのほか、社会教育委員や市中央公民館運営審議委員、市交通安全協会事務局長等を務め、地域行事の立案や児童の交通指導に多大な功績を残されました。

文化功勞表彰も

館山信用金庫、房州海運(株)の模範となる功績を残した二人です。敬称略。

市文化財に指定2件

「湯立神事」と「里辛祭」

市教育委員会は先月、新たに「厳島神社の湯立神事」と「茂名の里辛祭」の二件を市の無形民俗文化財に指定しました。これにより市内の文化財は、国指定三、県指定七、市指定十四になりました。

「湯立神事」は、厳島神社の氏子九十三戸に由来し、古くから受け継がれている神事。毎年二月十五日、同神社の境内で、二個の大釜に湯を沸かし、湯の薬を煮し、それをまわりにふりかけて大漁祈願、海上安全、家内息災を祈ります。



▼厳島神社の湯立神事



▼茂名の里辛祭

昔は「くがたち(盟神探湯)」といわれ、神意をよらうと決められ、場合によっては、一種の占いとして行われていたが、現在では「みそぎ」の二種として行われています。

「里辛祭」は、茂名の十三戸に由来し、氏子三十三戸により受け継がれている神事で、黒潮がもたらした食文化の一つと考えられています。

子先生

定員 二十人

《模・表装教室》

内容 模・表の張り替え、壁紙・掛け軸等の表装
日時 十二月十四、二十一日、二十八、二十五日、二月一、八、十五、二十二日、三月一、八日の木曜日。午後一時三十分から三時三十分。全十回。
講師 樽谷正市先生
定員 二十人

申し込み 希望者は、電話で中央公民館(二二二二二二二二)へどうぞ。受け付けは、十一月二十一日(月)から、開講日の五日前まで。申し込み者が多数の場合は抽選します。

中央公民館(二二二二二二二二)で、料理と模(ふすま)、表装教室を開きます。対象は、市内在住の成人、または市内に勤務している三十歳以下の人。受講料は無料(材料費等は自己負担)。

会場はコミュニティセンター。実生活に役立つ技術の習得や仲間づくり、あなたも参加してみませんか。

《料理》
内容 おせち料理、太巻ずし、旬と季節料理
日時 十二月十三、十四、十八、二十五日、二月一、八、十五、二十二日。午後一時三十分から三時三十分。全八回。
講師 石田猛先生、酒井美佐

九時。雨天でも実施します。
会場 コース 市民運動場を会場に、スタートは館山大橋。フルマラソンの部は、十時スタート。海岸線を南下し、洲の崎から神戸地区を回る四十二・一九五キロのコース。十キロの部は、十時三十分スタート。鷹の島付近までの折り返しです。

競技内容 フルマラソンの部 十六歳から三十四歳、三十五歳から四十九歳、五十歳以上の男子と、十六歳以上の女子の四クラス。

表彰 全員に参加賞と記録証。各クラスの十位までを表彰のほか、遠来賞や夫婦最高年齢賞。

申し込み 申し込み用紙に必要事項を記入し、参加費用二千円を添えて、十二月五日までに市教育委員会学務体育課(北条一四五一、二二二二二二二二)へどうぞ。

注意 当日申し込みは認めません。事前に医師の診断を受け

情報コーナー

みなさんのお宅に眠っている不用品はありますか。物が豊かな時代になったとはいえ、やはり余分な出費は避けたいもの。使える物を押入れに眠らせておく手はありません。市はみなさんの不用品交換のお手伝いをします。衣料品、家具、スポーツ用品、電気器具、書籍、楽器、

大会には保険証を持ってきてください。

自転車、バイク等々、売り、買い、ほしいなどの希望がありましたら、気軽に市商工観光課(二二二二二二二二)へご連絡を。ただし、営業を目的としたものはご遠慮ください。

ご希望します アップライドライノ、電気オルガン、足踏みミシン、ぶらさがり健康器、スクーター(五十ccから中型)、一万から二万円、小型チエーンソー

△譲ります なたつ、マイク、風景画、五葉松(一・五メートル、三十本)無料

発生しやすくなります。ちよつとの油断から火災を起こさないように、火の取り扱いには十分注意してください。

「火の用心 七つのポイント」
▽寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
▽子供は、マッチやライターで遊ばない
▽風の強い時は火をしない
▽天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
▽家の隅に燃えやすいものを置かない
▽ふろの空だきをしない
▽ストーブには、燃えやすいものを近づけない

秋の火災予防運動
火の取扱に注意を
十一月二十六日から十二月二日まで、秋季全国火災予防運動が実施されます。

本年の館山市における火災出火件数は二十三件(十一月一日現在)で、前年同期に比べて、五件の減少となっています。これを火災種別ごとにみると、建物火災十一件、その他火災十一件、林野火災一件、車輦火災一件で、その他火災のみが一件の増加になっています。

参加してみませんか

料理、模・表装教室を開催

12月5日まで申込み 若潮マラソン大会

第九回館山若潮マラソン大会の参加者を募集しています。締め切りは十二月五日(月)。参加希望者は、早めにお申し込みを。当日は、選手の走る時間帯に合わせ、交通規制を行います。市民のみなさんのご協力をお願いします。

日時 一月二十九日(日)。受付けは、午前七時三十分から

1月15日に成人式

転出者もどうぞ

来年一月十五日に、市民センターで成人式を行います。対象者は、昭和四十三年四月二日から四十四年四月一日までに生まれた人。市内に住居登録のある人には案内状を送ります。また、勤めや学校で市外に転出した人で、親の住所が市内にある人は、中央公民館（電話二二三一一）に申し込めば、一緒に成人式を迎えられます。成人式は、新しい門出を祝う日です。服装は華美にならないように自覚してご参加を。

募集します

新有権者の感想文

市選挙管理委員会で、来年度成人式を迎える人を対象に、新有権者の感想文を募集します。標題は自由（例えば「選挙権を得て」や「二十歳を迎えて」、「社会人としての自覚」など）。成人の日を迎え、社会人として地方自治や国政への参加について、自分自身で経験したり、考えたこと、感じたことを、原稿用紙四枚以内にまとめてください。申し込み 原稿用紙の末尾に住所、氏名、生年月日、職業を

小児マヒワクチンの投与

2回飲んで免疫に

小児マヒ予防のための生ワクチンです。左の日程表を見て、

小児マヒワクチン日程表(1回め)

実施場所	月 日	実施時間
神戸地区公民館	12月 5日(月)	14時 ~14時30分
富崎地区公民館	12月 5日(月)	14時40分~15時
西岬東地区公民館	12月 6日(火)	14時 ~14時20分
豊房地区公民館	12月 6日(火)	14時40分~15時
那古地区公民館	12月 7日(水)	14時 ~14時30分
船形地区公民館	12月 7日(水)	14時40分~15時
九重地区公民館	12月 8日(木)	14時 ~14時20分
館野地区公民館	12月 8日(木)	14時30分~15時
館山地区公民館	12月 9日(金)	14時 ~14時30分
保健センター	12月12日(月)	14時 ~14時30分

この生ワクチンは生後三か月から四十八か月までの間に、六週間以上の間隔で、二回飲みます。両方飲んで初めて免疫がつかますので、必ず二回すませてください。二回めの日程は、十二月号に掲載します。

対象/生後三か月から四十八か月までの子。なるべく十八か月までにすませてください。

注意/体温をはかり、服用前後三十分くらいは飲食はさけてください。当日下痢をしていたら中止です。筆記用具と母子手帳をお忘れなく。母子手帳がないと受けられません。料金は無料です。

精神衛生の出張相談

保健所で、精神衛生の出張相談を行います。不眠、イライラ、気がめいる、



母親学級
妊婦を対象に母親学級を開きます。希望者は、母子手帳と筆記用具を持って、直接会場へ来てください。時間は、いずれも午後一時三十分から三時三十分(食)

対人関係がうまくいかないなどの心配はありませんか。一人で悩まず、お気軽においでください。老人のボケなどの相談にも応じます。時間は、いずれも午後二時から三時三十分まで。

会場 館野地区公民館
担当医 田村利純先生
ワ十二月二十七日(火)
ワ十二月二十七日(火)
このほか、毎月第二火曜日の午後一時三十分から、保健所で酒害相談も行っています。

妊婦を対象に母親学級を開きます。希望者は、母子手帳と筆記用具を持って、直接会場へ来てください。時間は、いずれも午後一時三十分から三時三十分(食)

年金相談

ねんきん ねんきん ねんきん

こくほ こくほ こくほ

国保の現状

遺族年金受給者の国民年金保険料は

問い 私は夫を亡くし、現在、遺族基礎年金を受給しています。その場合でも国民年金保険料を納めなければいけないのでしょうか。

法定免除に

答え 障害基礎年金は、障害の状態が続く限り、受給者の生涯にわたって支給されます。そのため、国民年金保険料は免除され、納める必要はありません。しかし、障害が軽くなると、老齢基礎年金に移行されます。その場合の年金額算定の基礎になる加入期間は、免除されていた分、三分の一として計算されます。

納付を義務づけ

答え 遺族基礎年金を受給していても、国民年金の加入を続け、保険料を納めなければなりません。遺族基礎年金は、十八歳未満(障害者は二十歳未満)の子がいる妻に支給されますが、子供が十八歳をこえたり、あなたが再婚した場合などは、その時点で、受給資格がなくなってしまうます。そのため、老齢基礎年金を受給できるようにしておくというわけです。遺族厚生年金受給者も、婚姻などによる資格の制限がありますので、同様のことがいえます。

障害年金受給者は

問い 障害基礎年金を受給し



国保の統計 医療費の状況

表は、六十一年度の一人当たりの医療費が高かった、県下上位十市町村ですが、それらのほとんどが安房、夷隅地区の市町村です。館山市は、前年度と同じく九番めに位置し、前年度よりおよそ一万六千円伸び、三年前に比べると、なんと二万九千円も伸びています。これ以外にも、安房、夷隅地区の市町村は、

一人当たり医療費 (61年度)

順位	市町村名	金額(円)
1	天津小湊町	126,471
2	白浜町	126,103
3	千倉町	121,802
4	和田町	117,148
5	長南町	115,557
6	睦沢町	115,099
7	勝浦市	112,821
8	本埜村	112,066
9	館山市	110,678
10	印旛村	110,217



「市民のひろば」への投稿をお待ちします。毎日の暮らしのヒント、身近な意見などを400字以内にまとめてお送りください。電話でもけっこうです。あて先は、北条1145-1、市役所市長公室広報係です。

親睦深めて—西岬運動会



「がんばれー」の声援に、地区代表選手も大奮闘。先月23日、西岬コミュニティ運動会は、同小学校で開催。今年で6回目を迎え、地区民の親睦と融和をモットーに、およそ1200人が参加し、さわやかな秋の一日、快い汗を流していました。

環境美化に



秋のまちを愛する週間の最終日、十一月六日に全市一斉清掃を実施。各地区、町内会、各種団体を中心に、道路脇や空き地、海岸などの散乱ごみ十九ヶ所が集められました。また三日には、巴川を主会場に市内主要河川で、錦鯉五千匹を放流。河川浄化への関心を呼びかけました。



身障者と健常者がいっしょになって楽しむ第八回ふれあい広場が、先月十五日、午後一時三十分から市民センターで開かれ、たくさんの方々が参加。障害者への理解を深め、和太鼓の演奏や模擬店、輪投げ、ボウリングなど多彩な催しに、家に閉じこもりがちな子供たちも、みんなで楽しめました。

「ふれあい広場」を開催



「企画展」に人気

「村絵図の世界・江戸時代の村を歩く」と題した企画展が盛況です。江戸時代の村絵図をとらえて、人々が暮らした村とはどのようなところだったのか、村落の様子をさぐり出し、今に残る面影や変化の様子が理解できます。また、村絵図が作られる理由をとらえて、その役割なども紹介しています。11月27日まで、市立博物館本館で開催。

市民美術品展

価値ある美術鑑賞の機会を提供しようと、先月二十二、二十三日にコミュニティセンターで、市民美術品展が開かれました。日本画、洋画、彫刻、書など六十四点を市民からお借りし、館内いっぱい展示された作品は、いずれも自慢のものばかり。訪れた人たちは、感嘆の声をあげながら作品に見入っていました。



シユウメイギク

三十年近くも、庭の片隅のシユウメイギクの切り株の根元に、シヤコ貝と並んで、一株のシユウメイギクが殖えもせず減りもせずに、毎年さわやかに秋色を添えてくれた。それが姿を消してから幾年になるだろう。あれは、母から聴いた杜家のかつての在所を訪ねて、山奥の路をたどった時のことで、ささやぶのへりにあったのを一本持ち



らせて迎えてくれた。が残念なことに、一か所だけ除草剤のため全滅しかけていた。

シユウメイギクは秋の菊と書く。別名をキブネギク、中国名は秋牡丹。菊といっているが、キンポウゲ科の植物で、中国の命名の方が科学的である。ボタンの仲間

あり、英名でジャパニーズ・アネモネと呼ぶが、アネモネの仲間でもある。キブネギクとは、京都の貴船神社の近くに多かったのが名づけられた。この地区は石灰岩が多いので、この植物の生育によかったといわれている。原産地については、中国原産のものが室町時代あたりに移入され、全国に広まったという説と、もともと日本にあったという人があり、決めかねるところだが、中国説の方が強い。同じ仲間のタイワンシユウメイギクと、日本産のものがヨーロッパで交配改良された新しい園芸品種が最近出回っている。(一)

今年もにぎわった

文化祭

文化祭 龍山市芸術フェスティバル



市民の芸術、趣味、文化活動などを一堂に集めた文化祭に、大勢の市民がくり出しにぎわいました。芸能、芸術の総合的発表会として、初めて「芸術フェスティバル」を開催するなど、多彩な催しが行われました。